

第5期ステージプラン ビジョン実現に向けた主な取組（抜粋）

取組の柱	2026	2027～2035
①社会課題の解決につながる研究成果を実装 東西軸を中心とする他の拠点等とも連携しながら、迅速な実証・実装等を進めます	東西軸を中心に連携、東西軸上の人が集まる場所で研究成果等発信 ●8月 りそなEXPO ●9月 けいはんなフェア in OSAKA 学研都市の目玉となる成長分野(ロボット・アバター、フードテック、モビリティ等)への支援 ●イノベーションハブの再構築 サイバーセキュリティ拠点の設置による、大学や企業、研究機関と連携したインフラ防御力強化とサイバー人材の育成 ●京都データ連携協議会設立	
②イノベーションを推進する交流連携と情報発信 けいはんな万博の成果を活用し、多様な主体が交流するコモンズを形成し、オープンイノベーションを生み出します	学研都市内や関西の核となる大学と協力した、学術・研究開発や人材育成を推進する新たな連携機関の設置 ●7月 共創会議事業部会立上げ ●10月 Student Summit 自由な交流ができるコモンズ、共創の場(経営者や大学学長等がマスターを務めるカフェ等)の定期的開催 ●交流イベント開催	
③科学技術と結びついた新たな文化創造 科学技術等を活かした新たな文化を創造します	メディア芸術に関する創作・研究・アーカイブ機能を担う国家的拠点の誘致 けいはんな万博のレガシーとしての後継事業の実施 ●けいはんな未来フェス(通年)	
④都市形成と交通アクセスの利便性向上 都市内外の交通アクセスを整備します	レベル4の自動運転バス等の社会実装の実現 ●京都府内での自動運転バス実証運行 ●四條畷市での信号認識システム及び交差点等自動制御化の実証実験 都市形成／国道163号、幹線道路の整備／JR学研都市線・JR奈良線の複線化の推進 ●南田辺西地区事業着手 ●高山地区第2工区南エリア一括業務代行予定者決定	
⑤新ビジョン推進の仕組みづくり 推進体制の見直し等により、新ビジョンの実現を推進していきます	中核的機関である高等研、(株)けいはんな、推進機構の組織体制の強化 ●推進コア会議組成 税制上の優遇措置等を検討・新設 ●学研税制改正	